

千歳

除雪に関する

ワークショップ便り



千歳市からのおねがい

車道や歩道への雪だしはやめましょう



除雪前に、施設帯や民地の雪を道路に出すと、除雪する雪の量が多くなり、交差点の雪山が高くなるなど、まわりの方の迷惑になります。また、除雪後の雪だしは道路が凹凸になり車や歩行者の通行の妨げになりますので絶対にやめましょう。

路上駐車はやめましょう



路上に車が駐車されていると、除雪することができず作業を中断するため、除雪時間が長くなります。自分1人くらいという気持ちがあまわりの迷惑となりますので、路上駐車は絶対にやめましょう。

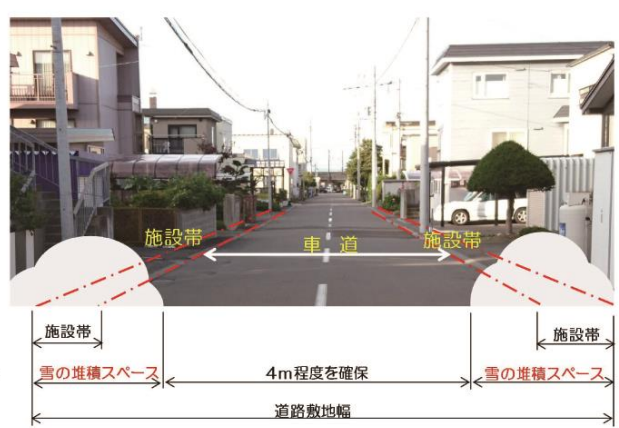
間口の雪処理にご協力をおねがいします

大型の機械で除雪を行うため、各家庭の出入り口には、雪が残ってしまいます。市民のみなさまのご協力をお願いします。

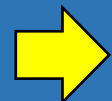


施設帯の雪の堆積にご理解とご協力をお願いします

生活道路の施設帯は、道路の雪を堆積する場所です。



ニュースレターに関するお問い合わせ先



千歳市役所建設部道路管理課 TEL:24-3131
千歳市環境整備事業協同組合 TEL:24-1377

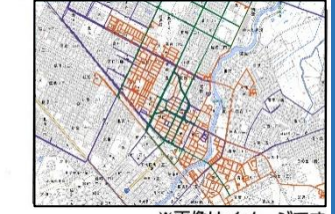
除排雪に関する情報



千歳市LINE公式アカウントで除雪情報を提供いたします。

除雪車の位置情報が確認できるようになりました。

URL https://www.chitose-josetsu.jp/josetsugps/imadoko/top_chitose/



※画像はイメージです

「除雪地域懇談会」を開催しました！



懇談会の目的は？

地域のみなさんや除雪業者、市が協力し合い、より良い冬の生活環境を目指すため、ワークショップ形式により話し合いを行い、地域における「除排雪の課題」や「新しい提案」を基に除雪マップを作成し、今後の除雪作業の参考にすることを目的としています。

どんな内容の懇談会になったの？

千歳市の気象状況や除雪体制、除雪方法を基に、各町内会の地図に、実際に生活する上での地域の問題点や良かった点を話し合い、それらの情報を地図にまとめました。

懇談会の結果をどう活用するの？

作成した除雪マップを地域のみなさん、除雪業者、市の三者で情報共有するとともに、今後の除雪作業の参考とすることで、地域における生活環境の向上を目指します。なお、除雪マップについては、除雪従事者の交代に伴う引継ぎの際などに利用していきます。

「千歳市 除雪地域懇談会」

開催日時：令和4年 5月25日（水）
18時30分～20時30分

会場：千歳市防災学習交流センター そなえーる

出席者：地域の方 11名
千歳市職員 9名
千歳市環境整備事業協同組合 2名
除雪ブロック担当責任者 2名

※1 ワークショップとは
いろいろな立場、考え方の人がひとつの作業の共通体験を通じて意見を交換し、その意見を「共有する、認める、理解する」ことを通じて、問題や課題への対応の方向性を見出す「体験・参加型」の会議などのことをいいます。

できあがった町内マップは裏面へ
(裏面の地図を参照)



長都駅前町内会 除雪マップ

凡例

- 交差点の雪山
- 堆雪、雪山
- その他
- 公園の活用
- 緑地、空地の活用

良かった点

課題

提案

見通しの確保

- ・幹線と生活道路の交差点の雪山が高い
- ・見通しが悪い

除雪技術について

除雪業者の技術に差がある

排雪をもっと実施してほしい

縁石の破損が多いので気を付けてほしい

- ・長都2号公園の交差点の雪山が大きい

空き地の活用

空き地を堆積場として活用できないか？

信号のある交差点を優先して拡幅しては？

道幅が狭くなる

堆雪により道幅が狭くなる

歩道通行の確保

歩道が除雪されていない時がある

マンホールの段差

段差解消のすみやかな対応

生活道路の除雪

生活道路も 10 cm で出動すべき

河川・緑地の活用

河川・緑地を堆積場として活用

公園の活用

公園内の本を伐採（整理）して活用しては？

公園柵を外し、雪を入れられるようにしては？

公園を堆積場として利用すべき

融雪槽の整備

長都駅駐車場などに整備しては？

ザクザク路面

融雪期にザクザクになる前に除雪してほしい

圧雪が厚くならないように除雪で削る

道幅が狭くなる

道幅が狭くなる大型車が多く走行するので拡幅してほしい

河川・緑地の活用

防風林を堆積場として活用しては？

長都駅前町内会の重要課題

- 交差点の見通しの確保
- 通学路である歩道通行の確保
- ザクザク路面の対策
- 雪堆積場の確保など雪捨て場が必要



今後の千歳市の取り組み

- 交差点の見通しの確保
除雪作業時から雪山の高さを抑えるよう実施し、必要に応じて2次作業を行うことにより見通しの確保に努め、交通の円滑化と安全性の向上を図ります。特に、幹線道路と生活道路の交差点付近では、右側の雪山を低くするよう努めます。
- 通学路である歩道通行の確保
歩道脇の雪山が高くなると、小型歩道ロータリー車での除雪が困難になることから、除排雪作業時において雪山の高さを低くするよう実施し、特に、通学路である主要歩道の通行を確保するように努めます。
- ザクザク路面の対策
ザクザク路面を軽減するため、新雪除雪において圧雪が厚くならないよう、配慮した除雪作業を行うとともに、市内の生活道路の一部において、厚くなった圧雪を削取する方法を実証実験します。
- 雪堆積場の確保など雪捨て場が必要
流通、都雪堆積場の雪堆積量を増やすため、両堆積場の雪を置く面積を広げることに加え、両雪堆積場の負担を軽減するため、市の除排雪作業による雪は、市内に点在する調整池や公園に投入するとともに、市有未利用地などを活用します。

【個別の除雪対応のお願い】

ゴミステーション、消火栓、マンホールなど道路管理者以外が設置したものの除雪作業は、各管理者での対応をお願いします。

いただいたご意見や提案を参考に、今後も地域力を活かした雪対策を進め、冬季の生活環境向上に取り組んでいきます。

